

平成25年12月24日（火）

# 会 議 録

+

+

平成 25 年

乙訓福祉施設事務組合議会第 4 回定例会会議録

+

開会：平成 25 年 12 月 24 日

乙訓福祉施設事務組合議会

+

平成25年乙訓福祉施設事務組合議会第4回定例会

目 次

○出席議員	.....	1
○欠席議員	.....	1
○事務局職員出席者	.....	1
○説明のため出席した者	.....	1
○議事日程	.....	2
○開 会	.....	3
○日 程 1	会議録署名議員の指名	3
○日 程 2	会期の決定	3
○日 程 3	副議長選挙	3
○日 程 4	管理者諸報告	4
○日 程 5	定期監査、例月出納検査結果の報告	7
○日 程 6	第11号議案 乙訓福祉施設事務組合立施設設置条例の一部 改正について	7
○日 程 7	第12号議案 平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計 補正予算（第1号）	8
○閉 会	.....	19

+

## 平成25年乙訓福祉施設事務組合議会第4回定例会

## 議 事 日 程

平成25年12月24日（火）

午前10時00分開議

## ○出席議員（9名）

向日市	飛鳥井 佳子 議員	新 矢 宗 弘 議員
	常 盤 ゆかり 議員	
長岡京市	白 石 多津子 議員	武 山 彩 子 議員
	三 木 照 常 議員	
大山崎町	小 泉 興 洋 議員	波多野 庇 砂 議員
	安 田 久美子 議員	

## ○欠席議員

なし

+

+

## ○議会事務局職員出席者

半 田 麻 子 書記

## ○地方自治法第121条の規定により、説明のために出席した者（10名）

久 嶋	務	管 理 者（向日市長）
小 田	豊	副管理者（長岡京市長）
江 下	傳 明	副管理者（大山崎町長）
藤 本	正 次	事 務 局 長
大八木	貴 之	会計管理者（向日市会計管理者）
河原崎	清 隆	事務局次長兼総務課長
渡 辺	三知雄	事務局次長兼乙訓若竹苑施設長
中 川	仁 夫	乙訓ポニーの学校施設長
関 本	信 夫	介護障害審査課長
長 藤	登	障がい者相談支援課長

○議事日程

- 日程 1 会議録署名議員の指名
- 日程 2 会期の決定
- 日程 3 副議長選挙
- 日程 4 管理者諸報告
- 日程 5 定期監査、例月出納検査結果の報告
- 日程 6 第11号議案  
乙訓福祉施設事務組合立施設設置条例の一部改正について
- 日程 7 第12号議案  
平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算（第1号）

○会議録署名議員

長岡京市	武山彩子議員
向日市	飛鳥井佳子議員

(開会 午前10時04分)

○小泉興洋議長 おはようございます。

ただいまの出席議員数は9名でございます。

それでは、平成25年乙訓福祉施設事務組合議会第4回定例会を開会いたします。

日程に入ります前に、先般、長岡京市議会議員選挙が行われ、本組合議員として、新たに白石多津子議員、三木常照議員、武山彩子議員をお迎えすることになりました。ここにご紹介させていただきます。

それでは、各議員の皆様、一言ずつご挨拶をお願いいたします。

まず、白石多津子議員。

○白石多津子議員 長岡京市選出の白石多津子でございます。乙訓の障害福祉のために一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○小泉興洋議長 次に、三木常照議員。

○三木常照議員 皆様、おはようございます。長岡京市議会から選出されました平成市民クラブの三木常照と申します。この乙訓地域の福祉事業について、一生懸命取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆様よろしくをお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 続きまして、武山彩子議員。

○武山彩子議員 おはようございます。長岡京市から選ばれました武山です。事務組合の事業の充実に向けて、皆様とご一緒に審議に活発に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○小泉興洋議長 ありがとうございます。

それでは、日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定により、長岡京市の武山彩子議員、向日市の飛鳥井佳子議員を指名いたします。

日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今、定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、よって、会期は本日1日限りといたします。

日程3、副議長選挙を行います。

お諮りいたします。

本件につきましては、先ほど開催いたしました全員協議会でご審議いただきましたとおり、地方自治法第118条第2項の規定に基づき、議長による指名推選の方法により行いたいと存

じますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、副議長については、長岡京市の武山彩子議員を指名いたします。  
お諮りいたします。

武山彩子議員を副議長の当選人と定めることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、よって乙訓福祉施設事務組合議会副議長は、長岡京市の武山彩子議員と決しました。

それでは、副議長席にお座りいただきたいと思ひます。

(武山彩子副議長 副議長席に着席)

○小泉興洋議長 それでは、ただいま当選されました武山彩子議員から、一言ご挨拶を賜りたいと存じます。

武山議員。

○武山彩子副議長 ただいま、皆様からご推挙いただきました、改めまして副議長の席を預かりました武山彩子です。議長の補佐役としてしっかりと務めていけるように頑張つてまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小泉興洋議長 日程4、管理者諸報告であります。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 おはようございます。

本日ここに、平成25年乙訓福祉施設事務組合議会第4回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位には、何かとお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

諸報告の前に、先般の長岡京市議会議員の議員役職改選によって、本組合議員に白石多津子議員、三木常照議員、武山彩子議員を新たにお迎えすることになりました。議員の皆様方におかれましては、本組合発展のため、今後ともご指導、ご協力賜りますようよろしくお願ひいたします。

また、ただいま本組合議会副議長に武山彩子議員が就任されましたことをお祝ひ申し上げますとともに、今後ともよろしくお願ひいたします。

それでは、9月議会以降の報告をさせていただきます。

最初に、総務関係であります。

本組合職員採用試験を実施し、選考の結果、指導員1名を平成26年4月から採用する予定であります。

次に、今年度第2回目の本組合運営協議会を11月18日に開催し、平成26年度の予算(案)等につきまして、構成市町の福祉担当との意見交換を行いました。

最後に、今年度の防災訓練につきましては、全体訓練として、今月11日に地震想定及び火災訓練を実施しました。

次に、若竹苑の関係であります。

現在の利用者数は、就労継続支援37名、生活介護6名、合わせて43名となっております。なお、就労移行支援は、現在、利用者はございません。市町別の利用者数は、向日市8名、長岡京市26名、大山崎町6名、京都市の方が3名となっております。

また、地域活動支援センター事業の登録者数は23名、市町別の利用者数は、向日市が4名、長岡京市が16名、大山崎町が3名となっております。

日中一時支援事業の登録者数は46名であります。

行事関係ですけれども、各事業別に日帰り旅行を実施し、須磨の水族館や五月山の動物園等に行っておりまいました。地域活動支援センター事業では、利用者の作品展を12月12日に開催いたしております。また、事業報告・交流会として保護者、指導員が生活面や作業等について話す機会を持っております。

自主製品の販売については、地域との交流も目的に、洛西ふれあいの里まつり、長岡京ガラシャ祭、向日市社協まつり等に出店いたしました。

見学・実習関係では、小・中学校の体験学習、社会福祉士実習を受け入れております。

+ また、運営協議会の部会を10月1日と12月17日に開催し、「各事業の報告」、「生活 + 介護事業と就労移行支援事業について」を案件として構成市町の担当者と協議し、ご意見をいただいております。

最後に、今年の支援は12月27日で終了し、来年は1月6日から再開する予定であります。

次に、介護障害審査課の関係であります。

まず、介護認定審査会の本年4月から11月末までの審査状況は、お手元にお配りさせていただいております資料の1ページ目にその概要を記載しておりますが、合議体を144回開催、4,108件の二次判定を行っております。

次に、障害程度区分認定審査会の本年4月から11月末までの審査状況であります。資料の2ページをご覧ください。合議体を16回開催、150件の二次判定を行いました。

続きまして、障がい者相談支援課についてご報告いたします。

まず、乙訓圏域障がい者自立支援協議会の関係ですが、「医療的ケア」委員会では、重度の障がいのある人が入院されたとき、障がい者と病院職員との意思疎通を円滑にするため、「入院時コミュニケーション支援」について協議を進めて、二市一町の健康福祉部長に報告書を提出いたしております。

地域生活支援部会では、昨年度より制度化されました放課後等デイサービス事業の実施に向け、乙訓保健所と連携し、先進地域への視察見学の取り組みなど協議を進めております。

相談支援部会では、今年度より本格的に始まりました計画相談について、二市一町の障がい



福祉課のご協力を得て、10月に3回の説明会を実施いたしました。

発達障がい児・者支援部会では、昨年度から協議してきました、教育と福祉の連携を進めるため「子どもの発達を支援するために」を発行し、地域の小学校、中学校の先生方への配付を依頼いたしました。

乙訓圏域障がい者虐待防止センターにつきましては、各相談支援事業所との交流や障がい者虐待防止に関する研修会の実施などの啓発活動を進めているところであります。

今年4月1日に設置されました乙訓障がい者基幹相談支援センターでは、総合的、専門的な相談支援の実施を目指し、困難事例を各市町や各相談事業所と協議し、成年後見制度利用支援なども行っております。

引き続きまして、ポニーの学校についてご報告いたします。

まず10月以降の利用状況ですが、現在、83組の通園児並びに保護者の方にご利用いただいております。内訳は、向日市26組、長岡京市46組、大山崎町11組でございます。

行事関係では、11月6日、秋の遠足を実施し、親子36組の方が参加されました。また12月7日には、父母の会と共催でお楽しみ会を開催しました。

相談支援事業につきましては、9月から11月までに57件の計画作成並びにモニタリングを実施いたしました。

最後に、本年の療育は12月25日に終了し、新年は1月6日から再開する予定となっております。

報告は以上であります。

○小泉興洋議長 以上で、管理者諸報告を終わります。

日程5、定期監査及び例月出納検査結果の報告であります。

監査委員の報告を求めます。

常盤監査委員。

○常盤ゆかり監査委員 岩崎監査委員が欠席されておりますので、今回は私の方からご報告させていただきます。

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を平成25年11月22日に、また同法第235条の2第1項の規定に基づく例月出納検査を9月30日、10月28日及び11月22日に実施いたしましたので、同法第199条第9項及び第235条の2第3項の規定により、その結果を報告いたします。

監査の概要及び検査の結果につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりであります。

なお、報告書にありますとおり、事務事業の執行及び各月の出納などについては適正に処理されておりました。

以上で定期監査及び例月出納検査の結果報告を終わります。

○小泉興洋議長 以上で、定期監査及び例月出納検査結果の報告を終わります。

それでは、日程6、第11号議案、乙訓福祉施設事務組合立施設設置条例の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第11号議案、乙訓福祉施設事務組合立施設設置条例の一部改正について、ご説明させていただきます。

今回の改正につきましては、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく規約の変更に伴って、別表中の「種類」につきまして、整理をするものでございます。

以上、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○小泉興洋議長 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

何かございませんか。

(「なし」の声あり)

+ 質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

+

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

(「なし」の声あり)

意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第11号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第11号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 日程7、第12号議案、平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算(第1号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 第12号議案、平成25年度乙訓福祉施設事務組合一般会計補正予算(第1号)について、ご説明申し上げます。

今回の補正予算については、既定の歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ645万円を減額

し、予算総額を歳入歳出それぞれ3億9,397万1,000円とするものでございます。

歳入歳出の詳細については、事務局長の方からご説明させていただきます。よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 それでは、引き続き説明させていただきます。

初めに歳入から説明させていただきます。補正予算の2ページから3ページをご覧ください。

款1分担金及び負担金、項2負担金、目1障害福祉サービス事業負担金で1,221万6,000円を減額するものでございます。これは若竹苑の支援費の減収によるものでございます。

この減収となりました理由としましては、支援費の制度が従来の月極から日割りに変わりました、この制度改正によります施設の収入の減額を補う措置が従前ございましたが、これが24年度末で終了したことによるものでございます。

次に、款6繰越金、項1繰越金、目1繰越金で576万6,000円を増額するものでございます。これは平成24年度の決算剰余金を主に計上するものでございます。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

歳出の中で職員の人件費につきましては、全体で943万6,000円の減額となっております。この内訳は本年7月から来年3月まで実施いたします給与の削減措置によるものが約450万円、残りの部分につきましては、人事異動等によるものでございます。

+

それでは、各項目ごとに説明させていただきます。

款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費で514万3,000円を減額するものでございます。

2節の給料から4節の共済費までは職員人件費の調整でございます。その他では、節7賃金で84万円の増額となりますが、これは障がい者相談支援課の事務補助をしていただいておりますアルバイト職員の賃金の増額によるものでございます。また11節需用費で51万円の増額ですが、これは本組合設立30周年に伴います広報紙の増刷の印刷費及び電気料金の値上げによるものでございます。

次に、4ページから5ページをご覧ください。

款3民生費、項1社会福祉費、目1若竹苑管理費で780万5,000円を減額するものでございます。内容としましては、非常勤職員分を含んだ職員人件費の調整によるものでございます。

次に、目3介護保険認定事業費ですが、これは目全体の補正のない、節の内訳の補正という形をとっております。1節報酬から4節共済費までは職員人件費の調整でございます。また8節報償費につきましては、介護認定審査件数の当初見込んでおりました数の減少によります、かかりつけ医意見書作成謝礼の減額となっております。

次の目4障害程度区分認定事業費も同様に、節の内訳の補正でございます。8節報償費は介護と同様に、審査件数の減少による、かかりつけ医意見書作成謝礼の減額でございます。また13節委託料の障害認定支援システム改修委託料につきましても、障害者総合支援法によりまして、平成26年4月1日から、従来の障害程度区分が、障害支援区分の認定審査に改正されることによりますシステムの改修を25年度内で実施しようとするものでございます。

また、節14使用料及び賃借料は、25年度で更新いたしました障害認定支援システムの契約に伴う差金でございます。

次に、目6障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業費で、57万8,000円を減額するものでございますが、これは全て職員人件費の調整によるものでございます。

次に、項2児童福祉費、目1ポニーの学校管理費で402万9,000円を増額するものでございますが、これも全て職員人件費の調整によるものでございます。

最後に、款5予備費で、304万7,000円を増額するものでございます。これは歳入歳出補正の差し引き分を予備費で調整するものでございます。

以上、簡単ではございますが説明とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○小泉興洋議長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。

+ 何かございませんか。

○小泉興洋議長 武山彩子副議長。

○武山彩子副議長 歳入のところで1点お聞きしたいのですが、平成24年度で、事業の報酬の単価が月割りの計算だったのが日割りになることによって激減していく経過措置をとっていた支援が終了して、このように負担金が減ったというふうにご説明いただいたんですが、1,200万円の減額というのが非常に大きいなと思っていまして、ここの負担金が減額された分をどんなふうにして財源の中で補っておられるのかなというのをお聞かせいただけますか。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 おっしゃるように、我々の会計の中で1,200万円の減収というのはかなり大きいものでございますが、見ていただいたとおり、一方で、繰越金の方では570万円増額と、それと、あと歳出以降のところでは、人件費の方が、いわゆる給与削減の措置及び職員退職等々ございまして、人事異動の中で、先ほど申しましたように約900万円程度減っております。その辺を相殺いたしまして、むしろプラス約300万円程度が少し残ってくるというような形で、それは予備費に積みさせていただきましたので、少なくともこの1,200万円の減収に伴って、即収入が、財源が乏しくなって分担金にお世話になるというようなことには、この段階ではなっておりません。

○小泉興洋議長 常盤議員。

○常盤ゆかり議員 1点お聞かせいただきたいんですけども、歳出、民生費の介護保険認定事

業費なんですけれども、4ページ、報償費で、先ほどご報告ありましたように、かかりつけ医の意見書作成の謝礼分ということで、認定数の減少ということをご報告いただいたんですけれども、これはなぜ減少ということになるんですか。

○小泉興洋議長 関本介護障害審査課長。

○関本信夫介護障害審査課長 介護認定審査会数でございますけれども、平成23年度、24年度と新規申請と、それから区分変更申請とが、それぞれ従来6カ月だったのが12カ月になったり、延長になったり、それから更新申請が24カ月まで延長になったりということで、従来、短く出てきたのが長くなったということで、全体に件数が減ったということでございます。

○小泉興洋議長 武山彩子副議長。

○武山彩子副議長 民生費の若竹苑管理費にかかわってのことなんですが、長岡京市にお住まいの向日が丘支援学校に通っておられる保護者の方やPTAから、恐らく乙福にも、二市一町にも要望書が届いているのではないかなと思います。各乙福の新しい議員にも保護者の方からの要望書が届きまして、ちょっとここに指導員のこととかも書かれてありますので、かかわってお聞きをしていきたいなと思っているんですが、まず、要望書の概要をご説明いただけたらなと、私が知ってるという前提でお話させてもらってよろしいですかね。

生活介護事業にかかわって、今年度の3月に向日が丘支援学校を卒業される生徒さんの進路先として若竹苑を希望されていると。ただし、若竹苑には、先ほどの全協でも説明が少しあったんですけれども、今のところ定員がいっぱいなので、さてどうするかという議論が乙福と二市一町でされているのではないかなと思っております。

まず、乙福の方でどういうふうにご見解を持たれているかというの、お聞きしたいと思えます。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 生活介護事業については、現在、本組合では定員6名で今手いっぱいございまして、今、生活介護をさせていただいております。

今、おっしゃいましたように、要望書が上がっていることも十分承知をしております、現在、市町の担当者と、それから乙福とで現在、協議中でございますので、もう少しお待ちいただけたらありがたいと思っております。

○小泉興洋議長 武山彩子副議長。

○武山彩子副議長 ぜひ、生活介護の事業というのは、今年の卒業生だけの問題ではなくて、本当にこれから先、5年後、10年後と見越したときに、これからどんどん必要になってくる事業ですし、民間の事業所も法人も頑張っていらっしゃるところなんです、公でやっておられる乙福が、かつて、数年前に、生活介護で受け皿がないということになったときに、この議会でも随分議論になって、それぞれの二市一町でも、議会でも随分議論になって、そのときも

保護者の方から要望が出されて、各議員にもその要望を持って回られるということがあった中で、乙福が二市一町と協議をされて、今の6名の受け入れができる生活介護事業を始められたということで、その当時も生活介護事業は若竹苑としては当初は全くやっていた事業なので、できるかどうか不安だというふうにもおっしゃられた中で、始まって、やっぱり今回、保護者の方がいろんな施設を回られて、若竹苑の生活介護の事業がご自身のお子さんに合っておられるというふうに思って希望されていますので、また今後受け皿不足が出てくると思いますので、ぜひ積極的に、今年度、決断をしていただきたいと思います。

長岡京市の議会の方でも、この問題について、ぜひ長岡京市としても財政的な支援をしていただきたいと思いますところなんですけど、一つは、就労移行支援のスペースが今定員ゼロなので、そこを使えるかどうかということと、職員さんを増やすことも必要ですし、その財政的な支援とか、就労移行支援の事業を、そしたら乙福が生活介護事業に例えば変えたときに、どこに就労移行支援事業をしていくかということが、乙訓圏域の中では重要な視点かなと思っていますんですけど、その点で、就労移行支援事業が若竹苑でやっている事業にかわる事業が、ちょっと来年以降に新たに立ち上がるということもお聞きしているのですが、乙福の方でもし知っていらっしゃることがあれば、聞かせていただきたいと思います。

○小泉興洋議長 藤本事務局長。

○藤本正次事務局長 就労移行のことに关しましては、先ほど申しました生活介護との関係もございまして、生活介護の、物理的なことと言いますと、この施設の中でやるためには、就労移行として当てていましてスペースを拡張して利用しないことには、生活介護のスペースは得られないというのは実際ある問題ではあります。

それと、また、それがためだけに移行の事業を廃止していいものかどうかという、そういう問題もございまして。それから、26年だけでなく27年度以降についても、これから支援学校の方の卒園生のいろいろとデータを見せていただきますと、毎年5人、7人の方が卒園されるデータもはっきり出ておりますので、その辺について、トータル的に市町の方で中心になっていただいて、ご協議いただいて、その中に我々も入らせていただいて、その中で乙福がどういう役割をしていくのか、それをいつからする、その辺について、今現在協議させていただいているところでございます。

いざやるとなると、具体的に乙福としてはこういう必要性、場所の確保あるいは職員の採用問題でございまして、その辺も全て今、もう既に二市一町の方にはお伝えしておりますので、その辺を踏まえたご協議をこれから来年以降も続けていきたいと思っております。

○小泉興洋議長 武山彩子副議長。

○武山彩子副議長 今おっしゃったように、就労移行支援のところのスペースを使うということで、一つは、スペースとしては確保ができるというふうに確認ができました。就労移行支援事業も、私が聞くところによると、アイリスさんの方で、全ての障がいの方に当てはまるわけで

はないんですけれども、就労移行支援事業をされるということもお聞きしていますし、ぜひ、進路の先が差し迫ってますので、ぜひ乙福のところで生活介護事業、若竹苑でやっていただきたいなと私は思っているんです。

長岡京市の議会では、財政的な支援はやっていきたいというふうにも答弁いただいていますし、ここで私はお聞きしたいのは、やっぱり乙訓福祉施設事務組合として、二市一町と協議をするということですが、長岡京市の方ではもう態度は議会の方でも答弁いただいていますので、はっきりしてますので、乙訓福祉施設事務組合の、やっていきたいという決断をして、きちんと長岡京市と向日市と大山崎町に財政的な支援を求めていくということが必要ではないかなと思うんです。

せっかくですので、二市一町の市長さん、町長さんが管理者でもいらっしゃいますので、そのあたりのご見解、私は長岡京市の議会の方でしか見解を行政からはお聞きをしてませんので、ぜひ見解をお聞かせいただけたらなど、財政的な支援をしっかりとバックアップをしていただいて、生活介護を若竹苑で持っていただくということをお願いしたいんですけれども、聞かせていただけますか。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 お気持ちはよくわかります。ただ、生活介護事業をするために、拡張するために、就労移行支援事業、本当に廃止していいものかどうかというのも、中で議論している途中でございます、二市一町の福祉担当者と、それと、今、乙福で現在協議中でございますので、今だけのことでなくて、将来のことでもございますので、もう少しお時間いただきたいと思っております。

○小泉興洋議長 江下副管理者。

○江下傳明副管理者 先ほど、事務局長の方からご報告があったように、中身でございますけれども、やはり現在、二市一町として、これから先のあり方をどういうふうにしていくかと、例えば来年以降、ずっと卒園者がおられるわけでございますので、その受け皿を乙訓圏域としてどうしていくかという方向が、まだきっちりと出てない中で、すぐに就労移行を廃止することについては、なかなか難しいことでございますので、そこはやはり慎重に先のことをしっかり検討して、その結論を受けたら、私としてもしっかりと町として支援していく考えでございますので、もう少しお時間をいただきたいということでございますので、よろしく願いいたします。

○小泉興洋議長 常盤議員。

○常盤ゆかり議員 関連して、私も、この間、就労移行支援事業も2年か3年ぐらい利用者ゼロですよね。やはりこれの現実を見ていただいて、今看板おろして、これ以降どうかということも、もちろんご報告の中であつたんですけれども、武山副議長からも話されたように、私ども

も来年1月以降ぐらい、アイリスさんがそういう就労移行支援事業を立ち上げられるということもつかんでおりますし、それはそれぞれ管理者、乙福でもつかんでおられると、もちろん思いますので、現実、やはりこちらで事業に対しては利用がない、そこを、あいてるスペースをどうするかというのは、やっぱり無駄をなくすという意味では、当然のアイデアというか、工夫だと思うんです。もちろん、人件費、人を増やさなければいけない、人と人のことになりますから、そこはこれからあるんですけども、やはり今度、3月末で卒業される、この二市一町、乙訓に住んでおられる方が、現実あちこち見られて、この若竹苑でやっておられる生活介護の事業が本当に自分たちの気持ちにぴったりだということで、私どもにも要望書が届いてますので、ぜひ、もう少しお時間という、そういうことでは、もう本当に差し迫った問題ですし、ぜひ大急ぎで、ぜひ前向きに進めていっていただきたいと、本当に思うんですけども、今ご意見いただいたし、再度、私として要望を強くさせていただきたいと思います。よろしく願いします。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 武山副議長さんと常盤議員さんと同じような考えを持っておりまして、やはり先のことを検討するとか、もう少し時間をいただきたいとかおっしゃるんですけども、やはりさすが進んでおられる長岡京市さんの方は議会ですっかりご答弁をされていたんだなという今知りました、やはりあいているスペース、当面の間でもとか、それからもう少し時間とか、先のことというのは、一体めどはどれぐらいの先のことなのかとか、具体的にお答えになっていただきたいと、管理者には、と思いますが、いかがでしょうか。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 今、福祉の担当者と、この乙福の方とで今協議中でございますので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。

○小泉興洋議長 安田久美子議員。

○安田久美子議員 4月から要望が、今も出ておりますので、それまでには結論を出していただきたいし、出ればすぐにまた議会の方にも報告をお願いしたいと思います。

ちょっと前の3月議会で、私がちょっと管理者の答弁をお聞きしたときに、旧ポニーの学校の関係で、管理者の方が、あれをきちっと売るというのが私の義務ですというような答弁を、確か、簡単に言うとそんなご答弁いただいたと思うんですけども、旧ポニーの学校の使い道というんですかね、そういう、ちょっと今もいろんな形で面積が狭くなって、これから5人、7人というような方が卒園されてこられるというところで、若竹苑として、公的な立場として、やはり一般的にいろんな施設の方が頑張っているの、乙訓たくさんあるんですけども、やはり公的な立場として、そこら辺は、受け皿として、今後考えていかなあかんと思ひまして、旧ポニーの学校の方の、売りさばいたらいいやんかというようなことだけじゃなくて、今後の使い方というのは、それから少し考え方を変えていただけたらなというふうに思うんで



すけれども、その点について、ちょっと意見を聞きたいんですけども、希望としてはそういう形で使っていただきたいなというのがあるんですけども、どうでしょうか。

○小泉興洋議長 久嶋管理者。

○久嶋 務管理者 旧ポニーの学校の跡地は、このポニーの学校を建設するとき、その建設資金として考えられたものでございますので、旧ポニーの学校の跡地は売却するのが筋でございます。その資金は、やっぱり二市一町のそれぞれの分担金を立てかえてもらっているようなものでございますので、筋としては十数年前にこの議会でもご承認いただいたと思いますけれども、このポニーの学校の建設資金としてあの跡地を活用するということが決まっておりますので、その点は再度ご認識いただきたいと思っております。安田議員のお気持ちは聞かせていただきましたので、参考にさせていただきます。

○小泉興洋議長 安田久美子議員。

○安田久美子議員 そういう約束で、議会でも決められているということになってるかもしれませんが、なかなか手放してしまうと、そういう施設の土地とかいうのはなかなか手にも入らないし、ぜひ希望としてはそのような希望を持っているし、今のところ、拡大をしていかなあかんというところ辺は、ぜひくみ置いていただけたらと思います。

それから、本当に総合的な話というの、これから進んでいくと思いますし、とりあえずのところは、できれば4月までに話を進めていただけたらということをや切に要望いたしておきます。+

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 5ページの障がい者虐待防止基幹相談支援センター事業費の、相談員報酬とかいろいろで57万8,000円うろこになっているんですけど、前回もちょっとお願いしてたんですけど、虐待防止センターの表示がわかりにくいということを申し上げていたんですけども、まず、これだけ予算がうろこになっているということで、ぜひせっかくの予算を活用してもらえたらどうかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○小泉興洋議長 河原崎次長兼総務課長。

○河原崎清隆次長兼総務課長 前回、ご質問いただきまして、今現在若竹苑の駐車場、正面のところなんですけど、一応各センターの名前と、ちょっとポニーの学校が奥まっているものですから、ポニーの学校、介護障害審査課、ちょっと看板をつけさせていただきまして、ちょっと道路沿いにあるものですから、なかなか遠くからということにはならないかもしれませんが、今後もいろんな方法を考えまして、広報という部分も含めまして、続けていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 ありがとうございます。ちょっと気がつかなくて申しわけありません。もう1点、よろしいですか。先ほど、先議会、3カ月もたって、決算で出てる研修参加料、当事者

エンパワメントネットワーク会費、これ3万円、これはどういうことですかとお聞きしたのを、お答えをさっきいただいたんですけど、非常にいいNPOのネットワークなんですね、今見せてもらったところなんですけど。ぜひ、これを議員の皆様にも、私だけじゃなくて、コピーしてお渡ししていただきたいということと、これ、東京の八王子にあるんですけど、毎年度2回全国各地を対象に開催してます、障害者相談支援事業職員研修会というのがあって、当事者エンパワメントというのは、すごく大事なことだと思うので、ぜひ、定例的に参加されて、各地から、なるべく京都に近いところでやっていただけるようなときは、研修に必ず参加してということで、予算をこれからも有効に使っていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○小泉興洋議長 河原崎次長兼総務課長。

○河原崎清隆次長兼総務課長 資料については、前回の議会でお答えできなかった部分で、お渡しさせていただきました。他の議員さんにもまた早急にお渡ししたいと思います。

この事業につきましては、昨年度が初めてということもありまして、多様な研修がございます。その中で平成24年度につきましては、担当者、GMがこの研修が必要だということで行っておりますけども、ほかにも多様な研修がございます。今年度についてはそれ以外の研修に行かせていただいたということで、研修につきましては、今後も必要なものと考えておりますので、いろんな研修を参考にさせていただきながら、近くである、特にそういうものには参加したいということで、いろいろ今後も検討させていただきたいと思います。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 できましたら、このニュースレターを年3回発行されているとかいうことなので、私もホームページとかで見ることができるとは思いますけども、ぜひ一部でも取って活用されるように要望いたします。

それと、もう1点だけ、若竹苑から苑生の方が、乙訓以外でも、お仕事に、いろんなところに、頑張っている方も多いかと思うんです。そういうところが、経営の都合か何かで、例えば洛西ふれあいの里とか、もう閉められるというようなことも聞いておりますし、そういう方は、多分あれは京都市がやっておられるので、それで打ち切りじゃなくて、またどこかに雇っていただけたらと思うんですけど、万が一、もう少し民間のところに行かれて、それでまたそちらがもう閉鎖になってしまったときに、そういう場合の対応とか、何度も職を変えなくちゃならないというのも大変ですし、そこら辺の就労支援はどういうふうになっているのか、ちょっと教えてください。

○小泉興洋議長 渡辺次長兼若竹苑施設長。

○渡辺三知雄次長兼乙訓若竹苑施設長 一旦就職されて、何らかの理由でまた離職をされたというふうな方につきましては、今のところアイリス、就業生活支援センターの方がそういう方の相談に主にのっておられて、次の職を探す等々についても、そちらで積極的に動いておられるというふうに理解しております。

○小泉興洋議長 飛鳥井議員。

○飛鳥井佳子議員 これ最後であれなんですけど、結婚とか出産も近づいている方とか、そういう方もいらっしゃるの、やはり生計を立てていくのに、もう本当に必死でつかんだ仕事というのがあると思うんです。そういうときに、やはりちょっとでも空白ができないように、何とか収入のある仕事を乙訓の中で、何か、何度も申し上げていますが、東京の町田市はダリア園をつくられて、あれ年中栽培できるので、その就労でお給料が出るとか、ちょっとした土地を活用したりとか、余り失敗なくうまくいく事業というのの開発を、もっと東京の世田谷とかそういうところは、ものすごく熱心にいろんなお仕事をに入れてやっておられるし、向日市はいろいろ施設で頑張ってはるところもあるんですけど、そういう何か収入があるというふうな、そういうことをつなげるような、前、ヘラクレスカブトを育ててほしいとずっと言い続けてきたんですけど、あれも1匹100万円になるから、案外好きな人には上手に育てられるし、そういうある程度温度に気をつけながら育てれば、ものすごく利益の上がるようなものもあるし、その人の適性に合ったような仕事を、それとか生ごみ堆肥を、福井県のまちのように、何かそれを活用して、市もごみ減量につながるし、そういうお仕事もつくれるとか、何かそういう全国の例を集めて、乙訓できちんとすぐ仕事につけるような、そういう地場産業みたいなのを、竹チップでも何でもいいんですけど、何かそういうのをしっかりと築いてあげないと、なかなか、親も高齢化してくるし、でも結婚したい子もたくさんいるんですよ。だから、二人で頑張っていくのに、将来夢見れることができる、頑張れることができるような仕事づくりを研究していただきたいと思うんですけど、よろしくをお願いします。

○小泉興洋議長 それでは、質問も尽きたようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、反対討論を求めます。

(「なし」の声あり)

次に、賛成討論を求めます。

武山彩子副議長。

○武山彩子副議長 この第12号議案、一般会計補正予算、この第1号については、賛成の立場でちょっと意見と要望を言わせていただきます。

先ほどの質疑の議論の中身のことなんですけれども、やはりもう少し先と、お待ちくださいというふうに管理者がおっしゃいまして、その先がいつなのかということが、一番やっぱり保護者の方が気がかりになっておられることではないかなと思います。

3月に卒業された後、もし空白ができた場合には、卒業生の方は在宅で過ごされる期間が出てくるということになりますので、そうしたときに、希望されている若竹苑が保護者の方と一緒に協議ができるのかどうかということもわかりませんし、ぜひ、もう少し先という、その先

+

がこの第1号の補正予算の次の3月の補正予算で、ぜひ、本当に、4月、できるだけ早い段階で若竹苑に二人のお子さん、そしてその先の、次年度以降の子どもさんがきちんと利用できるようにということで、対策を打っていただきますように求めて討論いたします。

○小泉興洋議長 それでは、ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第12号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第12号議案は原案のとおり可決することに決しました。

○小泉興洋議長 以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。

それでは、これをもちまして、平成25年乙訓福祉施設事務組合議会第4回定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。ありがとうございました。

(閉会 午前10時57分)

+

+

+

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長 小 泉 興 洋

会 議 録 署 名 議 員 武 山 彩 子

会 議 録 署 名 議 員 飛 鳥 井 佳 子

+